

住友ゴム、南アにトラック・バス用タイヤ生産拠点

Edited By LogisticsToday On 2018/08/07



住友ゴム工業は7日、南アフリカ・レディスミス市の「南アフリカ工場」に、トラック・バス用タイヤの生産設備を新設し、7月19日に生産を開始したと発表した。総投資額は9.7億ランド(81億円)。

これまで、トラック・バス用タイヤについては輸入販売を行っていたが、同工場でのトラック・バス用タイヤの生産を開始することで、現地での安定供給が可能となった。

■南アフリカ工場概要

社名:Sumitomo Rubber South Africa(Pty)

所在地:南アフリカ共和国クワズール・ナタール州レディスミス

操業開始:1973年

事業内容:乗用車・ライトトラック用タイヤの製造・販売

生産能力:1万2500本(1日あたり)

■トラック・バス用タイヤ工場概要

生産開始:2018年7月

建屋面積:18万平方メートル

生産能力:750本(1日あたり、2020年予定)

Article printed from Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト : <http://www.logi-today.com>

URL to article : <http://www.logi-today.com/322988>

Copyright © 2020 Logistics Today | 国内最大の物流ニュースサイト. All rights reserved.